

家庭学習の力は「生きる力」

〔お家の方へ〕

家庭学習の力は、子どもがこれからの社会を生き抜くために、「家庭」と「学校」が力を合わせて育むものです。

(お願い)

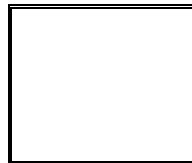
- ①「早寝・早起き・朝ご飯」などの生活リズムを整えてください。
- ②「勉強中はテレビを消す」「勉強する場所を整理整頓する」など集中できる環境を作ってください。
- ③学習している様子を見たり、〇付けをしたりしてください。
- ④やる気を高めるように、ほめたり、はげましたりしてください。
- ⑤子どもと一緒に、今週のめあてや自主勉強でやることを、考えてあげてください。
- ⑥ゲームやインターネットをする時間は、**1日1時間程度**としてください。

とみはらしょうがっこう
富原小学校

1・2年生のみなさんへ

おうちで学がく習しゅうすることは、学校がっこうで勉べん強きょうすることとおなじくらいとっても大切なことたいせつです。あせらずじっくりと、つぎの方法ほうほうで、おうちの人ひとといっしょにとりくんでみましょう！！

1 家庭学習の時間じかんをきめよう！！ →



めやすは、20分ふん～30分ふんです。

2 きょうのしゅくだいをやりましょう！！

3 時間じかんがあまったら、じしゅべんきょうをしましょう！！

4 しゅくだいや自主勉じしゅべんきょう強きょうがおわったら、お家の人うちに点検てんけんしてもらおう！！

がくしゅうするときのやくそく

- ①「～ながらがくしゅう」はしません。
～をみながら ~をききながら ~をたべながら
～をのみながら をがまんして集中します。
- ②つくえの上うえはきれいにします。
- ③文字もじをていねいに正ただしく書かきます。

「できるようになること」

1年生

- ① えんぴつを正しくもって、字が書ける。
- ② 口をはっきりとひらいて音読できる。
- ③ くりあがりのあるたし算、くりさがりのあるひき算ができる。
- ④ 1年生でならう漢字（80字）のぜんぶをよめて、ほとんどを書ける。
- ⑤ 「は、へ、を」の使い方がわかる。

2年生

- ① 2年生でならう漢字（160字）のぜんぶを読めて、ほとんどを書ける。
- ② 口をはっきりとひらいて、「、」「。」にきをつけて音読できる。
- ③ 2けたのひき算、ひき算の筆算ができる。かけ算九九を暗記しすらすら言える。
- ④ 「は、へ、を」をつかいはけて、文を書ける。
- ⑤ 定規をつかって長さをはかったり、きまった長さの線をひいたりできる。

「こんなことをしてみよう」（おすすめの自主勉強）

やったことは、おうちのひとに〇つけてもらったり、きいてもらったりしよう！

1・2年生

- ① ひらがなやカタカナをただしく書くれんしゅうをする。（書いているところをおうちのひとに見てもらおう）
- ② 国語の教科書を音読する。「、」「。」にきをつけて大きな声ですらすらよむ練習をする。すきな詩や、みじかい文章を暗唱する。
- ③ 算数の教科書の練習問題やテストの問題を、もう一度ノートにやってみる。
- ④ 漢字の書きじゅんやおくりがなにきをつけて、ただしく書く練習をする。（書いているところをおうちのひとに見てもらおう）
- ⑤ 国語の教科書の文章を書き写す。心にのこったところをえらんで書きうつす。
- ⑥ できごとをよく思いだして日記を書く。あったことを順序よく書いたり、思ったりしたこと書く。
- ⑦ 自分で本をよんだり、おうちのひとによんでももらったりする。よんで思ったことをノートに書く。
- ⑧ おうちのひとといっしょに、時計のよみかたを練習する。
- ⑨ かけざん九九を、おうちのひとにきいてもらおう。